

ANAN

発行人●阿南町公民館編集部 編集人●公民館報編集委員会 印刷所●飯田共同印刷株式会社
連絡●〒399-1511 東條58-1 TEL 22-2270 FAX 22-2287
E-mail:kyouiku@town.anan.nagano.jp

Contents

- P1 表紙 遊歩道
- P2 阿南体育協会 特集！
(阿南剣道クラブ)
- P3 SDGs特集
- P4 西富士のあゆみ⑦
- P5 ANAN情報発信局
- P6 私の趣味・自慢
おらほの若い衆・あなんトピック①
- P7 あなんトピック②・お知らせ
- P8 うちのホープ・あの人この人
編集後記



阿南体協 冬季大会(剣道)

遊歩道

年頭に行われた阿南町消防団の出初式。今年は少し様相が違いました。式典後、役場までのパレードが催されました。そこで目を引いたのが女性消防団です。身支度は男性団員と同様。沿道で見守る人たちに、クリアファイルや缶バッチを配付していました。ひと昔前では、女性消防団という発想すら考えられませんでした。しかし昨今、女性ならではの活躍を期待する自治体が増加しています。

そもそも消防団の歴史は古く、江戸時代八代將軍徳川吉宗が、町火消「いろは四八組」を設置したことが始まりと言われています。当時は名誉にかけて消火を競い合ったといえます。それ以降、長い歴史を経て、戦後現在の自治体消防に至っています。江戸時代のような火消だけでなく、災害時の救助・防火指導から啓発活動・役割は多岐にわたります。ただ、若者不足による消防団員減少に歯止めがかかりません。女性消防団への期待は膨らむ一方、やはり地域に根ざす消防団、次世代にもしっかり繋げていけるよう、他人事ではなく、一人一人が真剣に考えていかなければいけないでしょう。

阿南体育協会 特集！

阿南剣道クラブ

前号でお知らせしました、昨年五段昇段をされました、阿南少年剣道クラブの小林一夫さんと新野剣道クラブ 白上実さんの特集を掲載させていただきます！

阿南少年剣道クラブ

小林 一夫さん

Q 剣道をはじめたきっかけは？

父親が剣道の指導をしており3歳頃から稽古に行くときについて行ったのが始めたきっかけです。その後、本格的に剣道を始めたのは5歳ぐらいだと思います。小・中・高と剣道を続けて、社会人になって進学するにあたり、一時的に剣道から離れましたが地元に戻ると同時に稽古を再開し、現在に至ります。

Q 合格までの努力や苦労は？

普段の稽古は、毎週水曜日に子どもたちと稽古をしています。コロナ禍で稽古もできないことが続いたときもありました。なかなか

か、出稽古もできないなか、阿南剣道クラブの玉置正先生・伊藤榮隆先生・松下俊幸先生・白上実先生、またクラブの子ども達にご指導や稽古をしていただいたおかげで、なんとか合格をすることができました。

Q 今後の目標は？

「剣道の理念」を踏まえつつ、剣道の稽古・試合を通して、心と体を鍛えていきたいと思っています。

新野剣道クラブ

白上 実さん



Q 剣道をはじめたきっかけは？

きっかけは、子どもが剣道を習い始めて「自分ならもっとできる」と思ったからです。それに、小・中と剣道の経験があったこともあり。でも、実際に始めてみると全然できないのにはビックリしました。それでも、できないことができるようになる楽しさ

があって、子どもがやめても続いています。

剣道を始めてしばらく経ってから先生に「私と大きな差があると感じていると思うけど、一つ理解できれば追い付けるほどの差しかない」と言われました。本当にどうにもならない差を感じていましたが、稽古を続けていると、打ち合えるようになってきました。そういう所も楽しみの一つです。

Q 合格までの努力や苦労は？

私は、複数回受審をして、やっと合格という感じです。特に始めた当初は、思うようにいかず自己流になってしまい、変な癖が付いた時の三段受審が一番大変でした。それまでの形を改め、正しいと指導されている形ができるように基本を繰り返し練習しましたが、癖が抜けず（今も修正中）受審をやめようと思ったほどでした。その時に基本稽古をいっしょにやってくれた先生には心から感謝しています。それから、何年も経ちましたが、最近やっと、なぜ正しい形が良いのか、少しずつ納得して稽古ができるようになってきました。「時間がかったな」とう

れしくもありましたが、時間がかりすぎて悲しくなっていました。

Q 今後の目標は？

中学生が卒業して、クラブ員がいなくなってしまうところ、佐田陸さん（新野）が剣道を始めてくれました。今まで普通と思っていた、稽古相手がいることのありがたさを痛切に感じています。いっしょに稽古ができることに感謝があります。向上したいと思う人が集まり、思いっきり稽古ができることがどれだけ幸せなことかわかります。ですから目標は「稽古すること」になります。

また、自分を見つめなおすために昇段審査はチャレンジしたいと思っています。昇段審査で、足りないところが明確になって、いい方向に修正できるところも、剣道の良いところだと思います。

阿南町剣道クラブは、富草剣道クラブ・阿南少年剣道クラブ・新野剣道クラブと活動を行っています。

稽古への参加・見学をご希望の方は阿南町教育委員会までお問合せください。

エスディージーズ

SDGsって何だろう??



最近よくニュース・新聞で目や耳にする「SDGs」についてANAN公民館報で発信させていただきます。

◆2015年に国連で採択され
「2030年までの達成をめざす17の目標」

◆国際機関・政府・企業・学術機関・市民社会・子どもも含めた全ての人が、それぞれの立場から目標達成のために行動することが求められている

◆キーワードは「誰一人取り残さない」

「SDGs」は

サステナブル ディベロップメント ゴールズ
「Sustainable Development Goals」

Sustainable… 持続可能な

Development… 開発

Goals… 目標 を略して

「持続可能な開発目標：SDGs」

といいます。

貧困・紛争・感染症・気候変動・資源の枯渇…

人類は、これまでになかったような数多くの課題に直面している。このままでは、人類が安定してこの世界で暮らし続けることができなくなってしまうとされている。そんな危機感から、世界中の様々な立場の人々が話し合い、課題を整理し、解決方法を考え 2030年までに達成すべき具体的な世界目標 を立てました。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



次号 身のまわりのSDGsについて特集！

西富士のあゆみ⑦

今回は開拓2世であり、酪農経営を父母から引継ぎ経営、第3世へと繋いだ富士宮市人穴にお住まいの関内千壽さんのお話を掲載いたします。



原稿依頼を受けた時、どのような内容で表せば良いのかしばらく悩んだ。

我父母・同志たちが希望に燃えた開拓入植から現在までの過程を考えた

この西富士も開拓から70余年、今では開拓3世と呼ばれる若人が地域の産業酪農開発者として日夜がんばっている。

廃れた原野で水道・電気・道

もない状況、開拓者精神で乗り越えて切り開き明日に向かった先人開拓者の努力はもちろんの事、母村 阿南町の絶大なるご支援がなければ今の西富士はなかった。

開拓当時の厳しい時代の流れの中、酪農業をとりまく状況は、祖父母の時代を知らない若人にとっては理解することは厳しいものがある、西富士開拓と一般的にいわれている場所（朝霧高原）ではあるが、若い世代にはもうこの言葉は通用しない。

今の世代に何を伝えなければならぬのか今一度考え先人の思いを再確認し仲間意識・連帯感を持てるように伝えたい。

70余年が過ぎ、先人たちは大半がもうここにはいない中ではあるが、今後も阿南町と西富士の強い絆とさらなる阿南町の発展を心より祈念する。

現在、開拓者3世の関内千壽さんの息子 関内慎介さんが経営している富士宮市の

【株式会社 Graceland】についてご紹介！

令和元年12月18日に【株式会社 Graceland】を設立し、ファームというくくりにとらわれない新しい牧場のあり方を見出し、ていくためにGracelandと命名。

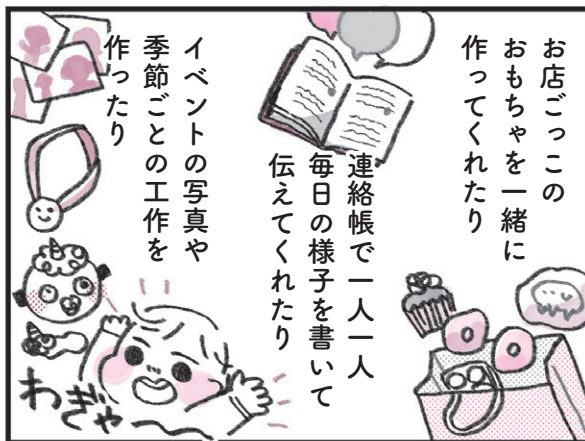
Gracelandは毎朝多くの牛乳を出荷しています。その牛乳は近隣の酪農家のものと混合され、どこにGracelandの牛乳が出荷されたか、どのようなブランドとなり皆様に飲んでいただけているのかわからない状態。そのような現況にとられず多くのお客様との関係を構築するべく新しい事業展開を考えているとのこと。株式会社Gracelandはお客様第一に喜んでいただけるように牛と共に今まで以上に安全でかつ美味しい牛乳を提供しています。一部広大な敷地20万㎡以上を活かした、ドローンフィールドもあるということです。



(株)Graceland HP
QRコード



ANAN情報発信局



いつも子だけではなく忘れっぽい私のフォローまでしてくださる先生方には本当に感謝ばかりで今回、春の入園を思い出しながら描かせていただきました。

初めての保育園で入園前から親としては、わからない事だらけ。不安でいっぱい。新しい環境でこれから大丈夫なのだろうか、元氣すぎる我が子は馴染めるだろうか.....

あれから数年、たまには先生に抱っこしてもらう日もありますが、親に目もくれず教室へ楽しそうに入っていく息子の背中はとても大きくなりました。

保育園という息子の中の世界はいつも名前を呼んでくれる友達、そして信頼ある先生と共に楽しく広がっているようです。

私の趣味・自慢！

富草 栗野

小池 彰雄さん

刻字を楽しむ「刻酔会」

十四年前、篆刻や刻字の師匠に誘われ、五、六人で月に一度、丸一日かけて作品制作に親しむ会をスタートした刻酔会。先般の下條村芸能文化祭での作品展示が好評を博す。



まず道具の多さ！既製品の鑿では細かな作業が難しいため、手作りの彫刻刀の数々が並ぶ。肝心の文字は自身で書く方もいるが、設立メンバーでもある松島龍水先生（相模原市在住）の書が多いとか。

制作過程は、文字を写した転写紙を台座（朴や杉の木材）に貼り付け彫り始める。（彫り方に

は陽刻【文字を浮き上がらせる】と陰刻【背景を浮き上がらせる】がある）大枠が出来たら転写紙を洗い流し、金箔やペンキなど様々な色を乗せていく。職人技である。

コロナ禍で停止中だった作品制作の会を復活させたい。見学歓迎！

（日本刻字協会会員の小池彰雄さん）

【用語説明】

・刻字…文字を彫り刻むこと。またその文字。

・篆刻…中国を起源としており、主に篆書（漢字やモンゴル文字、満州文字の書体の一つ）を印文に彫ることから篆刻というが、その他の書体や図章の場合もある。



おぼろ若衆



新野の 新野 快さん
後藤 快さん

Q、Uターンしたきっかけは？

きっかけは転職です。新野に父親の実家があり、通勤圏内であったため移住しました。実は新野には1、3歳までの間にも住んでいたことがあります。また移住する以前も盆・正月にはよく訪れていたため思い入れのある地です。

Q、あなたの趣味は？

趣味は音楽鑑賞です。HIPHOPから演歌まで幅広いジャンルを聴きます。最近ではホームオーディオ用にJBLのスピーカーを購入しました。とても良い音で気に入っています。

Q、今後やってみたいことは？

暖かくなったら家庭菜園に挑戦してみたいと思います。夏になったらトウモロコシやキュウリ・トマトの栽培に挑戦してみようかと思っています。採れた野菜で料理を作るのが楽しみです。

あな

3年ぶりに開催（1月13日～15日）

新野の雪祭り

3年ぶりに『新野の雪祭り』が開催され、祭り関係者の方に、開催できた想いをお聞きしました！
保存会長の勝野喜代始さん

「まずは、3年ぶりに開催できたことにほっとしました。間が空いたことで、祭りに参加する人が集まる心配でした。けれど、若い方たちが集まってくれて大変助かりました。また今まで引っぱっていた先輩方の参加が難しくなり、寂しく思うとともに、大変頼っていたことを実感しました。今回集まった皆で、細かい部分を確認しつつ、なんとか開催することができました。」

他の関係者より

「祭りができたことでやっと1年がはじまると実感しました。」

「天候が心配されていましたが、無事に開催できてよかったです。来年は屋台も含めてにぎやかに開催できることを願っています。」

最後に保存会長の勝野さんより「今年は、観覧者を制限しての開催となりましたが、来年はぜひ他地区の方も見に来てもらえる状況になってほしいです。」と来年のお祭りへの想いもお聞きできました。

あなんナビック②

阿南町体育協会冬季大会

新型コロナウイルスの影響で秋季大会が延期となっていた種目も含め、

1月29日(日)にバドミントン・卓球

2月12日(日)に剣道・弓道・囲碁ボールが行われました。感染症対策のための制限もありましたが、参加した選手は冬の寒さに負けず、熱戦を繰り広げました。

バドミントン(一般の部)

優勝 野上美都・優ペア

(富草小※一般の部参加)

準優勝 木村夏輝・竹原栄登ペア
三位 金田竜和・栗生美千代ペア



バドミントン(小学生的の部)

優勝 後藤誓太・池田芽生ペア

(新野小)

準優勝 高田星麒・田嶋凛花ペア

(新野小)

三位 小林美紅・廣瀬拓人ペア

(新野小)



卓球(一般の部)

優勝 小椋 哲生 (阿南一中)
準優勝 小林 悠 (阿南一中)

卓球(中学一年生の部)

優勝 平松 来翔 (阿南一中)
準優勝 熊谷 颯馬 (阿南一中)
三位 伊藤 倅人 (阿南一中)

剣道(基本打ちの面打ち風船割)

優勝 南島 健人
準優勝 伊藤 栄哉
三位 佐々木 颯介

剣道(一般の部)

優勝 小林 一夫
準優勝 白上 実
三位 伊藤 榮隆・富井 基広

剣道(小学生的の部)

優勝 小林 優太 (大下条小)
準優勝 栗塚 千愛 (大下条小)
三位 栗塚 桔平 (大下条小)



弓道

優勝 佐々木 秀
準優勝 松澤 英男
三位 三浦 忠隆



囲碁ボール

優勝 森下チー ム
(森下公正・三浦虎夫・小林しづ子)

準優勝 熊谷チー ム

(熊谷忠男・村澤弘郷・熊谷光雄)

三位 関内チー ム
(関内利康・野牧守夫・藤間隆子)



おしらせ

公民館報編集委員が
変わりました

公民館報あなんの取材・作成・編集に携わり、公民館活動に多大な功績をのこされた山下雅子さん(新野)と久保田幸子さん(大下条)が退任され、新しく公民館報編集委員として、金田渚さん(新野)と松澤みすみさん(大下条)が加わり、公民館報の作成・編集を行っております。

うちのホープ



大下条 深見 陽子さんの
松澤 厚志さん、お子さん 應祐くん(2歳)

ぼくの名前は「應祐」^{おつすけ}。家族みんなであげてくれた名前。家族や近所の人たちには、「おーちゃん」て呼ばれてるよ。今は、大下条保育園のたんぼ組に入っていて、毎日楽しく通っているよ。先生に絵本を読んでもらうことや、走ったりボール遊びをする事が大好き。家には、お姉ちゃんが二人、お兄ちゃんが一人居て、とっても賑やか。大きいお姉ちゃん二人は、散歩に行ったり、いっしょに歌をうたったり、お兄ちゃんもかくれんぼをしたり、追いかけて遊んだりして遊んでくれてとっても楽しいよ。抱っこもおんぶもいっぱいしてくれて優しいお姉ちゃんたちだよ。

ぼくは、パトカーや消防車、電車を見るのが大好き。それからおしゃべりも好きだから、たくさんの人とお話ができようになっって毎日楽しく過ごしているよ。

あの人この人

和合 和合上

近藤 広さんのお話

「念仏踊りとともに」

二十五、六才から踊るようになって私も今は七十才。始めた頃は先輩がたくさんいて、それぞれのやる役があつて、簡単には踊らせてもらえなかった。

コンビでやるヒツキ役をずっとやってきた。くっついていたり離れたり、ふざけて飛びまわる感じで面白かった。盛り上げる役回りになる。ヒツキは庭入^{にわいり}の行列の前の方で道を開ける役割だ、と聞いたことがある。太鼓は動きをそろえないといけないし、重たいで大変。ヒツキも型はあるが、どっしりした人や跳ねる人やいろいろだ。

若い頃、七十代の人と組んだら酔ってぐでぐでん、踊りにならんという事もあった。今は軽トラだが、寺へ上がる車道がない時は、長い石段も太鼓を持って上がった。夜店用の金魚を持ち上げた時はえらかった。わら草履で歩いて行く時代もあつて、雨でびろびろになった。

このごろは旗持ち役だが、人数が足りん時には踊っている。だんだん踊りも変わってきているところがあつて、昔の人がやるとそれはそれで面白い。

世界遺産になって踊る機会も増えると思うが、公演会場でかしまって踊るより、盆でやるのが一番面白い。維持していく責任も出てくる中で、難しい事もある。ただ、客がいてもいなくても、新盆のあるうちは続けたいといけないと思う。

写真は平成十二年のもので、父の速実と私と息子の俊広。旗持ちとヒツキと太鼓と、三代で参加した大切な写真だ。



広さん

速実さん

俊広さん

編集後記

今年の箱根駅伝は、駒澤大学の「大学三大駅伝・三冠」で幕を閉じました。

そして、過去に箱根駅伝の優勝経験がある大学が二年続けてシード落ちとなりました。監督は、昭和の指導方法では今の選手はついてこないと感じ、自分が変わらなければ、思ったと言います。しかし、チーム内に学生界トップクラスの選手がいても、その選手に追いつこうと練習する選手がいないと嘆き、各選手意識改革はどうすればできるものかと語っていました。

これは、大学スポーツ界の話ですが実社会においても同様の事がおこる可能性があります。まもなく新年度を迎えますが、お互いに歩み寄りワンチームとなり職務を遂行していただけだと思います。

(阿南公民館長より)